

留学報告書



University Town



シンガポールの中心地



寮から見える HDB(公営住宅)

留学先国	シンガポール
留学先高等教育機関名	英文 : National University of Singapore 和文 : シンガポール国立大学
留学期間	2024 年 8 月 ~ 2024 年 5 月
留学を開始した時の学年	3 年生

留学費用（概算）	
授業料（プログラム費用）	0 万円
宿舍費（1 か月あたり）	約 8(1 学期目)→約 11(2 学期目)万円
食費（1 か月あたり）	2 万円
通学費（1 か月あたり）	0 万円
教科書代	0.5 万円
渡航旅費	13.8 万円
保険料	9 万円
その他（VISA や寮の application fee など）	8 万円

滞在形態関連
1) 種類
☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ ルームシェア
2) 部屋の形態
☒ 個室 ☐ 相部屋
3) 設備
☒ シャワー ☐ お風呂（浴槽） ☒ トイレ ☒ エアコン ☒ キッチン ☒ ランドリー ☒ インターネット環境 ☐ 食堂 ☐ 電話 ☒ Studying Room ☒ 宅配ボックス

□その他（ ）
4) 住居を探した方法
□海外留学先大学の指定 □海外留学先大学のホームページ □留学経験者に聞いて □個人的に探した □その他（ ）
5) 大学までの利用交通機関と通学時間（片道）
利用交通機関：□学内バス □電車 □自転車 □徒歩 □その他（ ）
通学時間（片道） ：寮から教室まで 10 分～15 分程度
現地情報
1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
☒ はい □いいえ □わからない
2) 現地で病院にかかったことはありますか？
☒ はい（利用機関名： University Health Centre ） □いいえ
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
☒ はい □いいえ 大学の保険の加入が義務でした
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
□はい ☒ いいえ 「はい」の場合予防接種の種類：
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
☒ 留学先の友人 ☒ 日本にいる友人や家族 □海外留学先大学の先生 □海外留学先大学のカウンセラー □海外留学先大学の留学担当窓口 □ホストファミリーや RA（レジデンスアシスタント） □その他（ ）
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
監視カメラが至る所にあるので、日本よりも安全に感じました。危険情報は主に現地の友人から聞きました。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
大学のキャンパス内ではほぼすべての場所で Wi-Fi が利用可能でした。eSIM も安く手続きも簡単でした。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
ある程度のお金は日本でシンガポールドルにして持って行きました。 1 学年間の留学の場合は現地口座を開設し、日本の口座から送金するのが楽だと思います。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
スーパーやショッピングセンターで大体何でも買えます。 ドンキが何店舗があるため日本のものも簡単に手に入ります。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？
□海外送金 □クレジットカード □口座振込 □その他（ ）
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。
シェンションというスーパーが安いと言われているので、自炊をするならそこで買うといいと思います。

渡航について
1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
☐ 留学先大学のピックアップサービス ☐ 公共交通機関（バスや電車） ☐ ホストファミリーのお迎え ☒ その他（ 知人 ）
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
☒ はい（期間： 1 週間程度 ） ☐ いいえ

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）
履修した授業科目名
International Relations of Asia
授業内容や試験、授業を受けた感想について
現代の国際関係論というよりは主に歴史について学ぶ授業だった。 現地生よりも交換留学生の割合が高かった。

履修した授業科目名
Singapore Society
授業内容や試験、授業を受けた感想について
シンガポールの社会システムについて網羅的に学ぶことができ、シンガポールで生活するうえでもなった授業だった。

履修した授業科目名
Introduction to Japan
授業内容や試験、授業を受けた感想について
現地の学生や他の交換留学生と共に、日本社会や文化について新しい角度から学ぶことができ興味深かった。日本が好き、興味があるという学生が多かったため友達を作りやすかった。

履修した授業科目名
The Government and Politics of Singapore
授業内容や試験、授業を受けた感想について
シンガポールの政治システムや政策などについて学ぶことができた。レポートの字数が多く内容も難しかったためかなり苦労した。

留学体験記

留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由	留学を決めた理由は、多様な文化的背景を持つ学生と一緒に学びたいと思ったからです。特にシンガポールは中華系・マレー系・インド系と様々な人種が集まる多民族国家で、留学先の NUS は約 3 割が留学生であるため、多様な文化や価値観に触れる経験ができると考え選びました。また NUS はアジアでトップクラスにレベルの高い大学であるということも留学先として選んだ理由の一つです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学前には英語のスコア取得や、留学の奨学金探しをしました。英語に関しては会話に苦手意識があったので、国日の English hour に参加したりオンライン英会話などで練習しました。現地では中国語を話す人が多く、特にホーカーセンターや大学の食堂では中国語で話しかけられることが多かったため、少しでも事前に勉強しておけばよかったと感じました。
留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等	Reddit というアプリが情報収集に便利でした。 また、NiSC というシンガポールの日本人学生会がInstagramや note で渡航準備段階と渡航後どちらでもためになる情報をアップしているので参考になりました。
大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）	大学はキャンパスが非常に広く学生数も多いため、活気があります。 成績にシビアなため、キャンパスのいたるところで夜遅くまで勉強している学生を見かけました。勉強と遊びのメリハリがしっかりしていると思います。
滞在先の雰囲気	1 学期目の寮は寮内での活動が盛んで、遊びにも力を入れている学生が多かったです。2 学期目に住んだ寮は寮生や寮に住む交換留学生向けのイベントが非常に多く、優しいフレンドリーな学生が多かったです。基本的に現地生は土日に家に帰るため、寮内はかなり静かになります。
留学先における交友関係	授業内で声をかけたり、グループワークで一緒になった人と一緒に昼ご飯を食べるなどして友達を作りました。また、交換留学生や日本に興味がある学生との交流イベントなどもあったので、周りから情報収集をしてくるべく多くのイベントに参加するように心がけました。シンガポール人は日本が好きな人が多く、大学での交換留学生向けのイベントも多かったため、比較的友達を作りやすい環境だと思います。
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	シンガポール人は英語のアクセントが独特なため、慣れるまで理解するのが大変でした。同じ寮の人と会話したりしてアクセントに慣れるようにしました。また交換留学生は出身地域ごとで固まりがちだったため、交友関係を広げるのには少し苦労しました。
留学先における学習、課題や試験	授業の予習として課されるリーディングがかなり多かったため、予習に時間がかかりました。また試験は、知識問題というよりもエッセイのような形式のものが多かったため、授業内容の深い理解が必要だと感じました。
大学外の活動（課外活動や自由時間など）	サークルには参加しませんが、寮内のスポーツや地域のスポーツ練習などに参加することで現地の人々とも交流しました。Student pass があれば無料であるため、休日は博物館などを訪れました。近隣の東南アジア諸国には飛行

	機で 1,2 時間程度で行けるため、テスト前の約 1 週間の休暇は東南アジア旅行をして過ごしました。
留学を志す人へメッセージやアドバイス	留学という、様々な国から来た学生たちと共に学べる環境はとても刺激的で成長できるチャンスだと思うので、勇気を出して興味を持ったことには挑戦してみると充実した留学生活を送れるのではないかと思います！
就職活動について 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。例えば、留学前や留学中の就職活動へ向けた準備や、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。 ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
就活は留学前・留学中には少しだけしており、帰国後の 5 月中旬に本格的な就職活動を始めました。 留学を通して自己理解が深まり、帰国後は留学前には見ていなかった業界を第一志望に変えたので、あまり焦りすぎずに、留学中にしかできないことに時間を使うのもいいのではないかと思います。	